

# あらかわ 区議会だより



No.186  
平成18年8月13日発行

編集・発行／荒川区議会 ホームページアドレス <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>  
〒116-8501 東京都荒川区荒川 2-2-3 電話03-3802-3111 (代表)

平成18年第2回定例会号



6月8日に開園した瑞光橋公園

## 第2回 定例会日程

- 6月22日  
本会議
- 6月23日  
本会議
- 6月27日  
総務企画委員会  
文教・子育て支援委員会
- 6月28日  
福祉・区民生活委員会  
建設環境委員会
- 7月4日  
本会議

**区議会第2回定例会**  
**第31回オリンピック競技大会の**  
**東京招致に関する決議など**  
**議案12件を可決**

区議会第2回定例会が、6月22日から7月4日までの13日間の会期で開かれました。  
本会議の1日目と2日目には、6人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました（要旨は2・3面に掲載しています）。  
本定例会では、議員から提出された決議1件と区長から提出された議案11件がいずれも原案どおり可決されました（議案の審議結果は4面に掲載しています）。

## 掲載記事のご案内

4面	3面・2面
<b>決議</b> 議案の審議結果 災害に対する救援金 全国市議会議長会における議員表彰 区議会ホームページ	<b>区政のこをきく</b> 一般質問要旨 1日目 鈴木 堅之 議員(自民党) 中村 尚郎 議員(公明党) 齊藤 邦子 議員(共産党) 小坂 英二 議員(尚志会) 2日目 瀬野 喜代 議員 (新星クラブ) 齊藤 泰紀 議員(自民党)

# 区政のよさを大きく

## 一般質問

### 要旨

#### 職員意欲向上策と子どもたちのための学校図書館の活動について



鈴木 堅之 (自民党)

**問** 少数精鋭の役割所を担うには、職員が意欲を持って仕事に取り組むことが必要不可欠である。職員意欲向上について問う。

**答** 職員が「区民を幸せにするシステム」の一員として、その使命と役割を理解し、「温かい愛情」と「冷静な判断力」を持って職務に取り組むことが不可欠であると考え、研修の充実を図っている。今後も、職員の育成、意欲向上に最大限の努力をしていく。

**問** 昇任試験の受験希望者が減少している。職員の昇進意欲や向上心がわかれた組織が発展するのは難しいので、職員の意識調査などにより、早急に挑戦意欲向上策を講じるべきと考えられているか。

**答** 職員意欲把握が重要と

**問** 読書は、単に子ども

たちの国語力の向上に寄与するだけでなく、本にかかっている考えや生き方などに触れることによって、子どもたちの人格形成に多大な影響を及ぼすものと考える。こうした観点から、今年度の学校図書館が大幅に充実したことは高く評価するが、子どもたちが興味・関心を持つ本を取りそろえるため、図書に関して専門的な知識を有する学校図書館指導員の全配置を早急に行い、読書活動の一層の充実を図るべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 学校図書館は、子どもたちの読書活動や主体的な学習を支えるため欠くことのできないものであり、学校図書館の活性化は学校教育の中核となる極めて重要なことと考えている。このため、学校図書館の充実とともに、子どもたちの国語力を高める取り組みを進めている。学校図書館指導員については、これまで配置した2校に加え、新たに読書活動推進校等3校に配置した。今後、全ての学校における読書活動の推進体制を整えるとともに、学校図書館指導員の配置の拡大についても検討していく。

**問** 読書は、単に子ども

#### 減災対策の推進と教育問題について



中村 尚郎 (公明党)

**問** 区民の生命や財産を守るために、地震の被害を小さくする要因を分析し、効果的な対策を選択し、そこに資源を集中することで被害を減らそうとする「減災」対策が重要である。区はいかに減災対策に取り組んでいくのか。

**答** 減災対策としては、

**問** 区民の生命や財産を守るために、地震の被害を小さくする要因を分析し、効果的な対策を選択し、そこに資源を集中することで被害を減らそうとする「減災」対策が重要である。区はいかに減災対策に取り組んでいくのか。

**答** 減災対策としては、

**問** 読書は、単に子ども

報の共有化、安否確認等、検討すべき課題が多いため、区内に横断的な災害時要援護者対策推進の部門を設けるべきと考えるがどうか。

**答** 災害時要援護者に対し、迅速かつ効果的に救助活動、安否確認を行うために、地域防災計画の見直しに併せ、対策の充実に取り組み、対応の充実に取り組んでいく。また、福祉部をはじめ関係部門のさらなる連携強化を図っていく。

**問** 区では習熟度別学習の実施や学校選択制の導入等に取り組んできたが、ゆとり教育での学力低下について、どう評価し、どのように対応していくのか。

**答** 教育内容の厳選と基礎・基本の徹底を中心として様々な教育改革に努めており、子どもたちの基礎学力は着実に向上している。学力向上のための施策の充実には引き続き努めていく。

#### 高齢者・障害者の介護・福祉の改善と子育て支援の強化について



斉藤 邦子 (共産党)

**問** 介護保険法改正及び障害者自立支援法施行に伴う影響について、サービス利用者及び施設の実態調査を実施し、その問題点を国に明示すべきでは。

**答** 介護保険法改正に伴うサービスの変更等について、個別具体的な説明を行っている。また、障害者自立支援法の導入にあたり、区として負担の軽減緩和を講じた。今後も実態や影響の把握をしていく。

**問** 区としての介護・福祉の理念とサービス基準を設定し、区民の暮らしを守るため、区民に必要なサービス確保の方針を持つべき。

**答** 社会保障制度が変革期を迎える中で、負担軽減など全国の自治体と先駆けとして、荒川区独自の激減緩和施策を先行してきた。国の制度変革にきめ細やかな対応を図っていく。

**問** 障害者福祉計画策定では、すべての関係団体と課題を出しあい実態に合った綿密な計画とする。

**答** 平成17年3月に障害者等実態調査を実施し、障害者の状況を把握した。その調査資料を活用し、関係団体との意見交換を行い、障害者福祉計画を策定する。

荒川区の子育て支援の強化

**問** 小児初期救急医療センターに保健師を配置し、子ども医療電話相談も行うべきと考えるがどうか。

**答** 都が「母子と子の健康相談事業」で電話相談を行っていること、この事業の周知を図ることで、適切な医療相談の機会を確保し、小児の健康増進等に努める。

**問** 出産費用助成制度の創設と子ども医療費助成の小中学生までの拡大で、出産から義務教育終了までの医療費無料化を実現すべき。

**答** 社会共通の課題である少子化対策や子育て支援の観点から、国が責任を持ち、国や自治体の役割分担や財源負担を含めた総合的な検討が必要となる。

**問** 学校保健統計書から見られる区の児童生徒のぜん息及び尿蛋白検出率の高さを分析し、子どもの健康づくりの課題を明らかにし、対策を検討すべき。

**答** 健康診断で把握した児童生徒の健康状態については、療病の早期発見と早期治療に努めている。今後、学齢期の子ども健康づくりに取り組んでいく。

その他の質問項目

- 教育基本法の遵守と荒川区教育行政の検証について
- 医療制度改定に対する区長の見解について
- 汐入地区の教育保育環境の抜本的改善について



### 迷惑・危険行為に対する 包括条例の制定と学校運営 について



小坂 英二  
(尚志会)

迷惑・危険行為に対し、罰則適用を定めた具体的な包括条例の制定を  
戦後、倫理の崩壊が急速に進んだ。迷惑・危険行為に対し、荒川区は全国に先駆けて、罰則を伴った具体的な包括的な条例を制定

し、次のような行為を厳しく取り締まるべき。①ごみ屋敷のごみため込み・ごみの持ち去り②住宅街等での騒音③携帯電話を使用しながらの自転車運転④区道に不法占拠⑤歩行喫煙など  
区長就任以来、区民

の誰もが安心して暮らせる荒川区の実現を目指し、全力で取り組んできた。仮に罰則規定を設ける際には、実効性の検討や関係機関との協議・調整、区民のコンセンサスを得ることが重要である点をしっかりと踏まえ、対応を検討したい。  
学校運営について教育委員会が適切な指導を  
教材費、給食費などの私費負担軽減金として、外部監査の実施、複数人によるチェック体制の整備、学校ホームページ等での詳細な情報公開を行うべき  
学校の私費負担は、これまでも会計事故の防止に努めてきた。今後も、包括外部監査結果などを踏まえ、学校内でのチェック機能

### 自転車と人を大事にした 街づくりと「認知症を知る キャンペーン」の積極的推進 について



瀬野 喜代  
(新星クラブ)

「都電と自転車」のサイクル産業を活かし、脱クルマ優先社会へ自転車と人を大事にした街づくり  
荒川区の資源である都電と自転車を活用し、都電と自転車の街「キャンペーン」を推進してはどうか。  
都電や自転車を主役とした地域交通のあり方を検討する必要性を認識している。本年度、荒川区の地域特性を活かした環境交通政策を探る有識者会議を新

たに設置する予定である。  
路地裏緑地を造り、「歩きたくなる街」をつくるため、緑化推進計画を策定してはどうか。生垣助成を推進し、自然観察会等で関心を高めるはどうか。  
「歩きたくなる街」には、快適な歩行空間の実現が不可欠である。新しい都市計画道路では、街路樹や植え込み等の緑化を図っている。生垣助成は区報等で積極的なPRに努める。  
今後、このような施策を総合的に進めるためにも緑化推進の計画が必要と考える。  
突然の一房ラスチック焼却区長会決定はごみの分別推進に反し、二酸化炭素の増加や安全性の懸念

能が働くよう指導する。  
悪質で確信的な給食費の不払いについては、法的処置を含む具体的な処置をとるべきでは。  
教育委員会では、児童への影響に十分配慮しつつ、学校が厳正な対応を選択できるような、学校を支援する方策を検討する。  
修学旅行を「修学」の名にふさわしく、農村滞在などの体験型エコツーリズムとして実施してはどうか。また、費用についても見直しを図るべきでは。  
修学旅行の目的は、学習内容を深め、統合することであり、歴史・文化に重点をおいた修学旅行は適切である。今後も費用等について、研究を深めていく。

などの検討すべき課題が山積みだが、見解を問う。  
特別区の最終処分場がひびいており、検討の結果、廃プラスチックの焼却で埋立て量の約六割を削減し、熱エネルギーを発電等に利用する結論になった。  
環境への影響については、今年度は他区でモデル収集を行い、廃プラスチックを撤入するすべての工場を排ガス等の安全性を確認する。  
区民との協働で「認知症を知るキャンペーン」の積極的推進を  
区民と協力して「認知症を知るキャンペーン」を推進し、認知症への理解をひろげてはどうか。  
今後とも認知症高齢者



その他の質問項目  
○ 障害者就労促進や特別支援教育の取り組み  
○ 補助金の見直し

### 教育行政、花と緑について

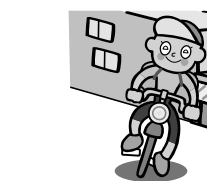


斉藤 泰紀  
(自民党)

教育行政のこと  
子どもの学力に係る環境づくりのひとつに子ども図書館の充実がある。子どもたちが勉強や読書はもちろん、遊びや楽しみを含めて利用できる場所として、親子一緒に出かけられる環境を整えることが重要である。新たな子ども図書館を期待するとともに、子どもたちのための読書環境の早期整備を求める。  
子ども専用の図書館は、今後の検討課題と受け止める。「子ども読書推進計画」に基づき、子どもたちや区民が利用しやすい、各地域図書館において蔵書の充実や魅力的な読書空間の整備を図っていく。あわせて、ふれあい館・ひろば館などでも、親子で本に親しむことができる読書環境の整備に努めていく。  
国語力は、全ての学力の基本であり、考える力、意思を通じ合う力、つくりだす力、判断できる力、理解する力などは国語力の向上の結果である。さらに、

国語力の向上が、日本の歴史や日本の文化を知る力、理解できる能力を育み、歴史を理解することが個人の生き方を判断できる可能性を高めると考える。国語力向上のための具体的な施策について問う。  
国語力を育むには、読書が有効であると考え、学校図書館の整備を行い、授業での積極的な活用を図ることで、子どもたちの読解力や表現力、問題解決力の育成に取り組んでいく。さらに、荒川区版「推薦図書リスト」を作成し、読書への意欲を喚起することも、読書の楽しさを伝えるために、読書の育成に努めていく。また区独自の「漢字コンテスト」や「作文コンテスト」などで国語力の向上に積極的に努めていく。  
区にとって花と緑と公園の充実が必要なのである。質素な工夫だけでなく、しっかりとお金をかけて「花いっぱい」の荒川区にしてはどうか。

その他の質問項目  
○ 友好都市交流のこと  
○ 議会と行政  
○ 法律と行政  
○ 区民のためには



詳細については現在作成中の会議録が出来たので、区立図書館および区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区ホームページの区議会情報のページ(<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kougikai/>)で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。



# 第31回オリンピック競技大会の東京招致に関する決議

オリンピックは、スポーツを通じて世界中の人々が感動を分かち合うとともに、友好親善と相互理解を深めることにより、平和でより良い世界の建設に貢献する世界最大のスポーツ・文化の祭典である。

1964年（昭和39年）の第18回オリンピック東京大会は、わが国の戦後復興の象徴として開催され、平和都市として生まれ変わった日本の首都東京を世界の人々に示し、これを契機に、政治、経済、文化が集積する大都市に発展した。

半世紀近くを経た今、再び東京でオリンピックを開催することは、世界平和を希求する意思を全世界にアピールするとともに、これまで培ってきた独自の伝統・文化や先端的な技術・産業を世界に発信し、環境にやさしく豊かで成熟した都市東京を全世界に示す絶好の機会である。

平成22年には、成田新高速鉄道の整備により日暮里・成田間が36分で結ばれる。荒川区民にとっても東京でオリンピックが開催されることは意義深く、区民

と世界の人々との交流、荒川区の産業の活性化を促し、世界の玄関口としての荒川区を全世界にアピールする絶好の契機となる。

よって、荒川区議会は、東京都民の夢である2016年（平成28年）第31回オリンピック競技大会の東京招致を強く求めるものである。

以上、決議する。

平成18年7月4日  
荒川区議会

# ジャワ島中部地震の被害に救援金



平成18年6月21日、鳥飼議長と戸田副議長は日本赤十字社東京都支部を訪れ、5月27日に発生したジャワ島中部地震の被害に対する区議会議員の救援金20万円を同支部事務局長に手渡しました。

## 議案の審議結果 平成18年第2回定例会

○賛成 ×反対 - 退席 太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	結果						
	自民党正論の会	あらかわ元気クラブ	新星クラブ	尚志会	日本共産党荒川区議会議員団	公明党荒川区議会議員団	自民圭荒川区議会議員団
議員提出議案(1件)							
第9号 第31回オリンピック競技大会の東京招致に関する決議について	○	○	×	○	*	-	○
区長提出議案(11件)							
第43号 荒川区保育の実施等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
第44号 荒川総合スポーツセンター条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	×	○
第45号 荒川区特別区税条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	×	○
第46号 荒川区立心身障害者福祉センター条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	×	○
第47号 荒川区立知的障害者支援施設条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	×	○
第48号 荒川区立精神障害者地域生活支援センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
第49号 荒川区防災会議条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
第50号 災害に際し応急措置の業務等に従事した者に係る損害補償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
第51号 財産の取得（焼もの機）について	○	○	○	○	○	○	○
第52号 財産の取得（乳房撮影用エックス線装置）について	○	○	○	○	○	○	○
第53号 包括外部監査契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○

\*賛成と退席がありました

## 全国市議会議長会における議員表彰

5月24日に開催された全国市議会議長会定期総会において、永年勤続議員として6人の議員が表彰されました。

**25年在職議員** 志村 博司 議員

**15年在職議員** 菅谷 安男 議員  
並木 一元 議員  
齊藤 泰紀 議員  
萩野 勝 議員  
服部 敏夫 議員

## 議事を傍聴しませんか

区議会を傍聴することは、区民の皆さんが区議会の活動を知る身近な方法です。区議会は区の議決機関として大変重要な役割を担っており、区議会を知ることには、区政を知ることになります。

本会議は、区議会の意思を決定する重要な会議です。また、定例会では、通

## 荒川区議会ホームページを「ご覧ください」

荒川区議会では、議会活動の状況をお知らせするため、ホームページを開設しています。各定例会の議事内容のほか、議会のしくみ、委員会の開会予定と傍聴案内など、区議会に関する様々な情報を掲載しています。また、本会議の様様を録画継ぎしています。ぜひご利用ください。

ホームページURL <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>



## 平成18年荒川区議会第3回定例会は9月中旬に開会する予定です

常、区長に区政全般にわたる、一般質問を行います。委員会は、区議会で扱う広範に渡る分野を各所管ごとに専門的に審査するために設けられたもので、議案をはじめ諸願・陳情などの審査を行っています。

本会議・委員会を傍聴するには、傍聴券が必要です。傍聴を希望の方には、会議の予定、傍聴に関する詳細は、議会事務局までお問い合わせください。（内線 3614）

なお、委員会において、開会10分前に定員を超える場合は、抽選となりますのでご了承ください。